

次世代自動車センター浜松 活動レポート Vol. 269

■ 自動車工学関連講座(中堅技術者向け Web セミナー) 第6回「原価管理と財務評価の基本」(会員限定)

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様から希望の多い中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、自動車工学関連講座の一環として中堅技術者向け Web セミナーを開催しています。

本年度も、多くの社員の皆さんが自社内で受講できる機会を企業力アップにご活用いただくため、カイゼンベース社を講師に、昨年度から内容も見直し、6回連続のWebセミナーとして順次実施しています。

今回は、その第6回目として「原価管理と財務評価の基本」を開催しました。

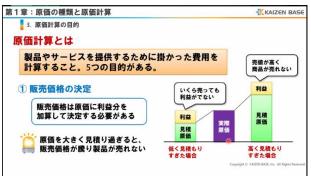
■日 時: 令和6年11月14日(木)13時30分~15時30分

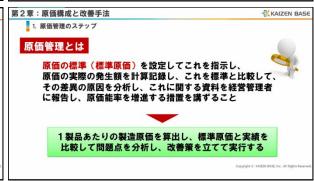
■場 所: Web形式

■参加者 : 89社/370名

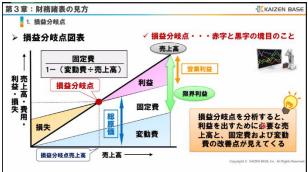














【参加者の声】

- ・原価の性質を正しく理解し、適切な判断を行う必要があることを学ぶことができた。標準原価をしっかりと把握することで、問題点の抽出・分析・改善を行うことの重要性も理解でき、原価の本質を見極める力が、企業の競争力を高める源泉であることを講義を通じて改めて感じることができた。
- ・目標原価を設定し、設計活動後に目標原価と見積原価との差異分析(発注先・発注単位・ 部品選定など)をしっかりと行い、より安全に、より早く、より安く最適な発注をするこ とを意識し、戦略的に改善を継続していくことが重要だと改めて感じた。また、設計の段 階で、よりコストダウンを狙える方法を検討していく (精度を求めない部品か・標準材料 を使用するなど)ことで、さらなる原価低減に繋げたいと思った。
- ・弊社の原価の考え方と比較することでイメージを持ちながら話を聞くことができた。原価 に関する考え方を一から整理し直すとともに、新たな考え方にも触れることができ、原価 に関する見識がさらに広がった。普段はあまり触れる機会の少ない、財務に関する知識も 身に着けることができとても参考になった。
- ・企業が利益を増やすためには原価低減が一番であること、また、原価管理は、材料費等を 積み重ねて計算することではないとわかった。設定した標準原価と実際原価の差異を分析 し、標準原価を引き下げるため、ムダや非効率を見つけて改善することが、原価管理の手 順だと理解できた。説明内容は非常にわかりやすく、実際の業務にも活かせると感じた。
- ・基本的なことはすべて理解でき、管理会計を基準に損益分岐点管理なども実施できているが、標準原価を選定することは概算でしかできておらず、実際原価管理での評価しかできていないことを改めて反省した。今後は、スタート時点での標準原価計算から原価低減活動まで一貫して進めていけるような組織にしていきたい。
- ・原価について、いろいろなことがわかった。原価を把握することで仕事の目標もわかりや すくなることが理解できた。
- ・原価管理を取り組む上でなかなか基本的なことを解説した資料が乏しい状況だった。本講義においては細かな(ほしい)情報を得られることができ、参考になった。
- ・原価に対する考え方、特に原価管理と原価計算の違いやそれぞれの目的、工程について詳 しく知ることができ勉強になった。これからの業務の中でも、原価の仕組みや弊社での取 組みなどを意識して着目していきたいと思った。
- ・原価管理の内容の説明に具体例を挙げて説明があり、わかりやすかった。現場改善の結果 が利益を生み出すという流れがよくわかった。また、原価管理の説明だけでなく、改善手 法について触れている点もよかった。
- ・原価計算時に使われている用語の正しい意味や、使い分けを知ることができ、原価計算の 重要性を理解できた。原価、財務に関して、学ぶ機会というのは今までなかったため。基 本的な事柄について、改めて理解を深めることができ、上流工程で仕事を進めるうえで、 原価をつくりこめるよう生かしていきたい。基本的な説明資料がまとまっているため、自 身で振り替える際や若手に説明する際に使用できると感じた。
- ・ものづくりをするうえで、原価管理を知ることは重要であり、その点について参考になった。原価管理は、企画開発からアフターサービスまでを考え、その後の原価改善が重要だということを学べた。
- ・原価の目的、種類など今まで意識していなかったことを学んだ。原価管理とは標準原価、 製造原価の比較、分析、改善の繰り返しを行うことで、標準原価の設定や改善のターゲッ ト等が参考になった。